

# みんなのひろば

ゆめだよりは皆さんの投稿で成り立っています。  
ぜひ、ご参加ください！



## 広報誌の顔を飾ろう 今月の表紙

「福島を盛り上げようと頑張っている人」、「県内で明るく前向きに活動している人」など。自薦・他薦可。



## あなたの“ゆめ”応援します ゆめのかげはし

小学生以下のお子さんが対象。  
かなえてみたい“ゆめ”を書いて  
ご応募ください。



## みんなでキビタンを描こう キビタンギャラリー

小学生以下のお子さんが対象。  
はがきにキビタンのイラストを  
描いてご応募ください。



## 「ふくしま」のなぜ?を調べます! ふくしまギモン調査団

福島にまつわるギモンをご応募ください。



## 画像データでも写真でもOK ふくしま四季めぐり

風景やお気に入りの場所など。



## オススメのお店を教えてください ふくしまオススメ情報

オススメの飲食店やスポットなど。

はがき・Eメール・ファクスでご応募ください

Eメール yume@pref.fukushima.lg.jp

ファクス 024(521)7901

960-8670

県庁 広報課

「○○○○○」係  
(コーナー名)

1 コーナー名  
(内容)

○○○○○○  
○○○○○○  
○○○○○○

2 住所・氏名・  
年齢・電話番号

「ふくしま」のなぜ?を調べます!

ふくしまにまつわる素朴な疑問を、ゆめだより編集部が調査します。  
毎号、調査結果をお知らせします。

## ふくしま ギモン調査団

今回のギモン 赤べこの模様の意味は  
なんだろう?

世代を超えて愛される会津地方の郷土玩具「赤べこ」。真っ赤な体に白や黒で描かれた模様が特徴的ですが、この模様にはどういった意味があるのでしょうか? 赤べこ発祥の地として知られる柳津町の観光協会でお話を伺いました!



圓藏寺が再建される際「どこからともなく赤毛の牛たちが現れ、材木運びを手伝った」という伝説が残っていて、柳津町では福を運ぶべこととして大切にされているんです。昔、会津地方で疱瘡が流行したとき、玩具の赤べこに身代わりになってもらおうと黒い模様が描かれました。それ以来赤べこは病魔を祓う縁起物としても扱われています。



柳津観光協会  
金坂 富巴子さん

皆さんの素朴な疑問を編集部が調査します。福島県に関する内容であれば何でもOK! 知りたいことをはがき・Eメール・ファクスのいずれかでご応募ください。

みんなのギモンを送ってね!



[おこたわり]調査結果は、発行日時時点のものです。また、福島県の公式の見解を示しているものではありません。

※取材が発生するものは、後日、ご連絡します。  
また、個人情報は記事や取材連絡にのみ使用いたします。



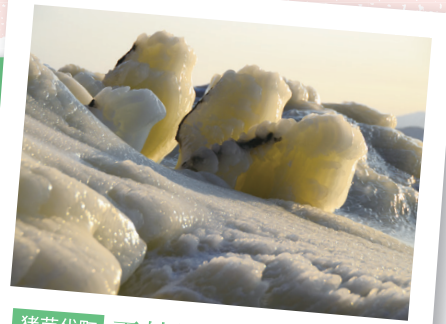
「ふくしま」を見つけよう!

# 四季めぐり



## 作品募集中!

皆さんが県内で撮影した、  
すてきな写真をご紹介します。



猪苗代町 天神浜 しぶき氷

撮影 江川 清さん(会津若松市)



喜多方市 山都町小布施原 SLばんえつ物語

撮影 戸田 勝昭さん(喜多方市)



矢祭町 関岡地区 赤そばの花

撮影 菊池 晃一さん(矢祭町)



イチオシの  
冬の写真を  
投稿してね!

※応募はデータでも写  
真でもOKです。撮影  
場所を記入してくださ  
い。画像や写真は返却  
いたしません。

「ふくしま」を楽しもう!

県内の注目店などをご紹介します。

## ふくしまおまかせ情報



### 食堂 つきとおひさま(喜多方市)

古民家を改装したどこか懐かしい雰囲気が人気のカフェ。地元産の野菜をふんだんに使った「旬のおかず定食」をはじめ、週末限定の自家製パンなど体に優しいメニューがそろいます。「訪れた人の記憶に残るお店になれば」とオーナーの五十嵐さん。座敷席もあり子ども連れでも安心してくつろげます。



喜多方市寺町南5006 ☎0241(23)5188  
営業時間/午前10時~午後6時 ※12~3月は午前11時~午後6時営業となります。  
定休日/火曜日、水曜日(祝日の場合は営業)



選りすぐりの  
雑貨や小物も  
販売しています!

外から見た福島のイイトコロ教えます

## ふくしま

二重  
マル

四季折々の  
風景がきれいな  
南郷公園が  
お気に入りです!

よしま ゆうすけ  
吉島 祐輔さん  
(大阪府出身)

国外や県外出身の人から見た福島を知るコーナー。  
第8回は、こだわりの蒟蒻を作っている大島屋蒟蒻店の吉島さんです。

## 地元産の「旬」の蒟蒻を食べてほしい!

奥さんの実家の蒟蒻屋を継ぐために、白河市に移住しました。福島は果物がたくさんあって、特に西日本にはない固い桃のおいしさに感動しました。自信を持っておいしさを発信してほしいです。

矢祭町産の在来種の蒟蒻芋を原料に、昔ながらの製法で「白河蒟蒻」を作りました。生芋を使った蒟蒻は冬の間しか食べられず、味や食感が格別です。ぜひ地元の「旬」の蒟蒻を味わってみてください。



白河市天神町にあるお店の前で奥さんと一緒に

